



今年度のESDの重点目標

様々な体験活動を通して「自らの考えを他学年の児童や、地域へ情報発信する力」をつける

【令和3年度 ESD 実践報告】

01 みんなで楽しむパラスポーツ

10 人や国の不平等をなくそう



5年生は、総合的な学習の時間のテーマ「福祉」から、パラリンピックの始まりや競技について学んだ後、障害者スポーツの「ボッチャ」と「アンプティサッカー」の選手に来校していただき、実際に体験をした。障害をもった選手の方から話を聞いて、障害と向き合いながら、目標に向かって努力を重ねる姿に、多くの児童が感動した。

その後、「みんなで楽しむ共生スポーツ」を考案したので、福祉協議会の方を招いて共にスポーツを楽しむ予定である。



02 残菜0(ゼロ)運動

12 つくる責任 つかう責任



児童会が栄養士に給食の残量についてのインタビューをし、本校の残菜の実態や栄養士、調理員さん達の思いを知ってもらうような動画を作成した。その後、全クラスを回り、その動画を見てもらい、残菜を少しでも減らそうと呼びかけた。少しずつ、残菜が減り、完食できる学級が増えてきた。苦手な児童が多い野菜も少しで食べられるように「ラッキーにんじん」と称して、ハート型のにんじんを数個だけスープに入れたイベントでは、児童会がお昼の放送で呼びかけたことにより、いつも以上に、スープの残菜が減った。

